

自己評価				学校関係者評価		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策
	全校レベル	評価指標	評価指標による達成度	総合評価・所見		
生徒の視点に 立った「わかる 授業」と家庭 学習の充実	1 学習指導の充実 ・生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学習する習慣の定着を図る。 ・基礎・基本の確実な定着と応用力の育成及び個性を生かす教育の充実を図る。	<p>[教務課]</p> 1) 生徒の進路希望に沿った選択科目を可能な限り開講する。 <p>[進学課]</p> 1) 毎月、学習時間調査を行い、年間平均を1・2年生ともに2.0時間以上とする。 2) 英数国を中心に、「日々のプリント」において強化週間を設ける。 3) 模試分析会を年間3回以上実施する。 4) 早朝補習を年間100回以上実施し、出席率95%を目標とする。 <p>[学年]</p> 1) 早朝補習への出席を督促し、出席率90%以上を目指す。 2) 「日々のプリント」により、基礎・基本となる力を定着させる。また、自主学習時間を確保する。				
	下位組織レベル	<p>[進学課]</p> 1) 「学習の日」を設け、学習習慣を身につけさせる。 2) 成績分析会で情報を共有し、教科会などで学力向上のための具体的方策を検討する。 3) 欠席者への連絡を継続的に行う。 <p>[学力向上委員会]</p> 1) 授業力の向上 <p>[学年]</p> 1) 自主学習時間を確保する。 ① 予習→授業→復習のサイクルを習慣化し、学習内容の定着を計る。 <p>[学力向上委員会]</p> 1) 全校で公開授業を実施し、年間平均4回以上見学する。 2) 教科会を年間3回以上行い、研鑽に努める。 <p>[学年]</p> 1) 「為せば成るノート」で確認し、一人ひとりに徹底させる。	活動計画の実施状況			

自己評価				学校関係者評価		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策
	全校レベル	評価指標	評価指標による達成度			
生徒個々の進路希望を実現するための情報提供及びキャリア教育の推進	2 進路指導の充実 ・進路への興味関心を喚起し、将来を見据えた望ましい職業観・勤労観を養う。 ・生徒の多様な能力、適性、進路希望に応じた、系統的・組織的な進路指導に取り組む。	[進学課] 1) 大学等による出前授業及び大学での公開授業を実施するとともに、校外での進路相談会に積極的に参加させる。 2) 進路・小論文・志望理由書などの講演会を5回以上実施する。 3) 卒業生(教育実習生)による進路講演会の実施。 4) 「進路だより」を20回以上発行する。 [就職課] 1) 公務員説明会及び自衛官説明会を各1回以上実施する。 2) 2年生対象に本校主催のインターシップを実施し、20人以上の生徒を参加させる。 3) キャリア教育を推進させるための研修会を1回以上実施する。				
	下位組織レベル	活動計画				
	[進学課] 1) 大学等による出前授業の充実 2) 進路選択に関する情報提供の充実 [就職課] 1) 情報源として説明会に加えてインターネットの活用をはかる。 2) 生徒のキャリア教育推進のための校外体験を推進する。	[進学課] 1) 出前授業で生徒からのニーズを把握するとともに、可能な限り多くの講座を設ける。 2) 模試や小論文のデータを基に、外部講師からのアドバイスを受け日々の学習に生かす。 3) 保護者にも情報を適宜発信する。 [就職課] 1) 6月に公務員説明会、7月に自衛官説明会を実施する。ハローワーク提供の高校向けインターネット求人情報を最大限に利用する。 2) 夏休み期間中に本校主催のインターシップを実施する。そのため希望する職種に合う事業所を開拓する。 3) キャリア教育を推進するため希望生徒対象に研修会を実施する。				

重点課題	自己評価				学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策
	重点目標	評価指標と活動計画	評価			
	全校レベル	評価指標	評価指標による達成度	総合評価・所見		
規範意識の一層の向上とルールを守りモラルやマナーを大切に する心、いじめを許さない心の育成	3 生徒指導の充実 ・基本的な生活習慣の確立を図り、節度と品位のある礼儀正しい生活態度を育成する。 ・生徒の生活状況に応じた支援を行うとともに、安全教育を徹底する。 ・いじめの早期発見、解決に努める。	[生徒指導課] 1)モラルやマナーの指導を通じ、学校全体で社会規範意識の育成に努める。 2)交通事故を前年に比べ20%削減(H26年-29件) 3)いじめを許さない指導。				
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況			
	[生徒指導課] 1)マナー指導の強化 ①頭髪服装指導の強化 ②言葉遣いや職員室での態度を改善 ③校内における携帯電話の使用方法の改善 2)安全教育の徹底 3)いじめ調査アンケートの実施と活用	[生徒指導課] 1)学校行事や学年集会の際に実施するとともに、日常的に随時行う。 2)交通安全講話の実施 ①学期ごとに一斉指導を実施 ②クラスごとに年1回の交通安全ホームルーム活動を実施 ③学年集会等での注意喚起 3)各学期末にいじめ調査アンケートを実施し、現状を把握するとともに担任面談等に活用する。				

重点課題	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策
	重点目標	評価指標と活動計画	評価		
豊かな心を育み、幅広く調和のとれた人材の育成と人権教育活動の充実	全校レベル	評価指標	評価指標による達成度		
		<p>[人権教育課] 1)生徒の人権ホームルーム活動に対する評価A。 2)人権啓発紙の年間発行回数を年12回以上。 3)「人権関連学校行事」に対する生徒の評価A。 4)各教科における人権学習・人権教育を計画的に実施。 5)生徒対象の人権教育講演会などを年2回以上実施。 6)全体の人権教育職員研修会を年間3回以上実施。</p>			
	下位組織レベル	活動計画	活動計画の実施状況		
	<p>[人権教育課] 1)HR活動の充実 2)啓発企画紙の充実 3)人権集会・人権ウィークスへ向けての取り組みの充実 4)各教科における人権学習・人権教育の推進 5)生徒対象の人権教育講演会の実施 6)人権教育教職員研修の充実</p>	<p>[人権教育課] 1)各クラスの状況に合わせて、資料を探し選択し、展開を工夫する。 2)人権啓発紙を年に12回以上発行する。 3)人権集会・人権ウィークスに向け、4月から取り組み、内容の充実した展示を行う。 4)各教科において、年度当初に立てた計画に従って人権学習・人権教育を実施する。 5)人権教育に関する講演会・映画会を年2回以上実施する。 6)全体の人権教育教職員研修を年3回、学年別の研修会を各学年で年1回以上実施する。</p>			

重点課題	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策
	重点目標	評価指標と活動計画	評価		
部活動のさらなる活性化を図るとともに、生徒会や各種委員会の諸活動を充実する。	全校レベル	<p>[特別活動課]</p> <p>1)部活動入部率90%以上、部活動の教育貢献度について、教職員・保護者・生徒の評価A</p> <p>2)生徒会新聞を発行し、生徒会や各種委員会の活動をPRする。生徒会活動・各種委員会活動について、教職員・生徒の評価A</p> <p>3)球技大会・城北祭について教職員・生徒・保護者の意見を取り入れ活性化と効率化を図る。教職員・生徒の評価A</p>	評価指標による達成度		
	下位組織レベル	<p>[特別活動課]</p> <p>1)部活動連絡協議会を年間4回以上開催し、部員達自らの取り組みにより、部活動の活性化を図る。</p> <p>2)生徒会がリードして学校行事への参加促進活動を行う。また生徒会新聞を発行し、活動を生徒や保護者にアピールする。</p> <p>3)各種委員会活動を活性化し、生徒が主体的に学校生活に取り組めるようにする。</p> <p>4)生徒会役員を中心に準備委員会を組織し、企画運営にあたる。</p>	活動計画の実施状況		

重点課題	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策
	重点目標 全校レベル	評価指標と活動計画 評価指標	評価 評価指標による達成度		
環境問題の理解と身の回りの環境美化実践および防災意識の啓発	<p>6 安全・環境防災の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の生命や健康・安全を尊重する態度を養い、事故の未然防止に努める。 ・災害発生時に適切な対応ができる防災体制作りに努める。 ・校内環境の美化に努め、公共心や豊かな情操を育成する。 	<p>[環境防災課]</p> <p>1)災害発生時に適切な対応ができるよう、全校あがりの防災避難訓練を1回、机下避難訓練を2回実施。</p> <p>2)新学校版環境 ISO に則り、ゴミの分別を徹底する。</p> <p>新学校版環境ISO中間報告会での評価A</p>			
	<p>[環境防災課]</p> <p>1)環境委員会(防災クラブ)を中心とした防災活動による意識の啓発</p> <p>2)学校内外の環境美化</p> <p>3)環境 ISO の周知徹底を図る。</p>	<p>[環境防災課]</p> <p>1)環境委員会(防災クラブ)を中心に防災研修会に参加する。また防災掲示板を運営する。</p> <p>2)クリーンキャンペーンを年間2回実施する。また年間1回、保護者・生徒・職員による除草作業を実施。</p> <p>3)ゴミの分別や節電・節水・紙の節約を推進する。</p>	活動計画の実施状況		

重点課題	自己評価				学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策
	重点目標 全校レベル	評価指標と活動計画 評価指標	評価 評価指標による達成度 総合評価・所見			
運営組織の活性化と教職員研修の充実	7 学校の運営体制の充実 ・教職員一人ひとりが学校経営の当事者意識を持ち、課題解決のために組織的に取り組む。 ・研修体制の充実を図り、コンプライアンスの推進と、リスクマネジメントの意識を培う。	<p>[企画広報課] 1) 情報セキュリティ研修を含め、年5回以上の注意喚起を行う。</p> <p>[コンプライアンス委員会] 1) 職員会議や職員朝礼などの機会をもとらえて全職員に対し年間15回以上の啓発・研修を行う。 2) コンプライアンスに関する相談体制を確立・周知する。 3) 予想される様々なリスクに対する危機管理体制(報告・連絡・相談)を確立し周知する。</p> <p>[教育相談] 1) 特別支援の対象生徒について、校内での共通理解を図る。 2) 学校生活を営むにおいて心配な生徒一人一人についての校内での共通理解を図る。教員の評価A</p> <p>[保健厚生課] 1) 教職員対象の救急救命講習会を年1回実施</p>				
		<p>[企画広報課] 1) 各学期、2回程度の注意喚起を行う。</p> <p>[コンプライアンス委員会] 1) 年間2回以上の推進機関及び随時適切な機会を設けてバランスのとれた研修や啓発を図る。 2) 相談体制を整えて学校全体でのサポート体制を作る。 3) 危機管理に関する具体的な事例に基づく研修を行う。</p> <p>[教育相談課] 1) 教育相談研修を年1回。 2) 不登校認定の依頼があった場合、特別支援教育委員会を開く。</p> <p>[保健厚生課] 1) 救急救命講習会を1学期に実施</p>				

重点課題	重点目標	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と改善方策
		評価指標と活動計画		評価		
		評価指標	活動計画			
学校外との交流・連携やHPによる広報活動のさらなる活性化とボランティア活動を支援する校内組織づくりの推進	全校レベル	<p>8 開かれた学校づくりの推進・学校評価を充実させ、保護者や地域から信頼される開かれた学校を目指す。</p>	<p>[学校評価委員会] 1) 保護者学校評価アンケートの回収率75%以上 [総務課] 1) 各種PTA活動を活性化し、広報活動を充実させる。 2) 円滑な業務遂行。 [特別活動課] 1) ボランティア活動へ延べ100名以上の参加を積極的に呼びかける。 [企画広報課] 1) ホームページを月15回以上更新する。 [国際交流課] 1) 各課・各科との円滑な連携による、交流事業の成功。</p>	<p>評価指標による達成度</p>	<p>総合評価・所見</p>	
	下位組織レベル	<p>[学校評価委員会] 1) 学校評価を充実させ、次年度の更なる改善に役立てる。 [総務課] 1) PTA活動の円滑な運営と充実 2) 学校行事・式典時に外部との連絡調整をはかる。 [企画広報課] 1) ホームページの充実 [特別活動課] 1) 生徒会や各種委員会を中心としたボランティア活動組織の確立とJRC部と協力の運営体制 [国際交流課] 1) 国際理解教育の推進</p>	<p>[学校評価委員会] 1) 学校全体で評価目標の見直し・作成を行い、取り組みの充実を図る [総務課] 1) PTA活動における各種連絡調整や企画提案を行う。 2) 城北祭や卒業式での渉外業務を行う。 [企画広報課] 1) ホームページ更新について、部の顧問や課長を支援し、より早い情報の提供を行う。 [特別活動課] 1) 全校生及び教職員にボランティア活動への参加を積極的に呼びかける。 2) 生徒会新聞を活用する。 [国際交流課] 1) 各種国際交流関係の広報や連絡調整にあたる。</p>	<p>活動計画の実施状況</p>		